



## 認知機能向上ゲーム「運転技能向上トレーニング」の提供 ～運転寿命延伸を通じた高齢者の充実した生活への貢献～

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二)の100%子会社である株式会社 QOLeAD(社長:岩井 泰雅、以下「当社」)は、国立大学法人東北大学加齢医学研究所(所長:川島 隆太教授)と株式会社仙台放送(社長:稲木 甲二)が共同開発した「運転技能向上トレーニング・アプリ」を、当社が提供するスマートフォン向け健康応援アプリ「健康第一」を活用して、2020年4月を目途に提供を開始します。

平成の初期には10%程度の水準だった65歳以上人口が総人口に占める割合は、今年2020年には約30%を占める見込みで、著しいスピードで高齢化社会が進んでいます。そのような中、高齢者に対し運転免許証の返納が求められる一方、生活のために自動車を手放せない高齢者の方も多くいます。

今回、健康応援アプリ「健康第一」を活用して本トレーニングを提供することで、運転能力や認知機能の低下を抑制し、運転寿命延伸への貢献を目指します。当社は第一生命グループとして、これらの社会課題の解決を通じて、一人ひとりが望むしあわせな人生や生き方の実現(QOL(Quality of Life)の向上)に向け、取り組んでいきます。

## ＜「運転技能向上トレーニング・アプリ」とは＞

・脳トレゲームで有名な東北大学・川島隆太教授と仙台放送が共同で発明・開発した世界初の「運転技能向上トレーニング用」のアプリ。1日 20分・6週間という短期間で自動車運転技能と認知力と活力が向上することを実証（2019年5月発表の研究成果より）。

・収録ゲームは6種類（運転技能ゲーム3種類、脳トレゲーム3種類）

※特許取得済み（特許 6284171号）

クルクルヒョーシキ	アブナイドロー	ストップコーサテン
<p>標識の「数字」や「数式の答え」が大きい方のボタンを押す。</p>	<p><b>操作①</b> 画面中央の☀️に🎵が重なるタイミングで🎵を押す。</p> <p><b>操作②</b> 左から人が来たら左の <b>注意!</b> 右から人が来たら右の <b>注意!</b> 人以外は押さない。</p> <p><b>操作①</b> と <b>操作②</b> を同時に行う。</p>	<p>車両が壁から出る直前のタイミングを予測して <b>ストップ!</b> を押す。 ハトや歩行者の時には押さない。</p>



監修 川島隆太 教授  
東北大学加齢医学研究所

## 脳科学の力で「高齢ドライバーの事故」を防ぐ

高齢ドライバーの事故は、脳科学の観点からすると、脳機能の低下、主に、大脳の前頭前野の知覚、予測の力が落ちることが、原因と考えられます。言い換えれば、前頭前野をトレーニングすると、運転のほぼ全ての場面、例えば何か危険なものを察知する能力、それを避けようとする判断の力が向上します。今回開発した「運転技能向上トレーニング」は、運転の場面に即した前頭前野を使うトレーニングを組み合わせています。

地方では運転ができないと、高齢者も人生の質が下がってしまいます。安全運転能力を伸ばすことで、高齢者がいつまでも生き活きと暮らしていただける社会を創生することができるのです。

川島隆太教授  
脳トレゲームの立役者で、認知症の予防・改善を目指す学習療法を提唱。ポジティブに年を重ねる「スマート・エイジング」を研究。脳科学の成果を意欲的に社会還元している。

（参考）

2019年春から提供中のテレビ接続型（HDMI ケーブル使用）ゲーム機を使用したサービス「川島隆太教授のいきいき脳体操～テレビで楽しくトレーニング～」内にも「運転技能向上トレーニング・アプリ」を搭載

★公式 URL: <http://www.ox-tv.co.jp/brain/tv-training/>

### <健康応援アプリ「健康第一」の取組概要>

InsTech(インステック)※1では、お客さまに最良のサービスを提供できるようエコシステム※2を形成し、スタートアップ・ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、先進技術企業などから先端テクノロジーに関する情報を幅広くタイムリーに収集・分析し、取り入れています。

今回の健康応援アプリ「健康第一」を活用した「運転技能向上トレーニング・アプリ」の提供についても、「健康長寿社会の実現」を目的とした異業種・業態の企業とのパートナーリングにより、実現しました。今後も国民の皆様のQOL(Quality of Life)の向上や健康寿命の延伸に向け、認知症進行抑制や生活習慣改善に有効なプログラムの提供等を検討していきます。

※1 保険ビジネス(Insurance)とテクノロジー(Technology)の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する活動のことで、最優先の戦略課題として、第一生命グループ全体で推進しています。外部の開発力・アイデアを積極的に取り入れ、他業態との連携(エコシステム)を実現しながら、生命保険業界全体のイノベーションをリードしていくことを目指します。

※2 複数の企業が商品開発や事業活動などでパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、業界の枠や国境を超えて広く共存共栄していく仕組みのことです。